2026年11月6日

各　　位

会 社 名　ニチモウ株式会社
代表社名　代表取締役社長　　青木　信也
（コード番号8091　東証プライム）
問合せ先　取締役執行役員管理部門担当
小島　章伸
（TEL　03-3458-3535）

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2026年５月15日に公表した2027年３月期第２四半期（2026年４月１日～2026年９月30日）の業績予想については本日公表の同期実績との間で差異が生じましたので、お知らせいたします。

記

1．連結業績予想数値の差異及び修正

2027年３月期第２四半期(中間)連結業績予想数値と実績との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	70,000	1,500	1,700	1,200	143.22
今回実績（B）	77,610	1,821	2,117	1,831	217.39
増減額（B－A）	7,610	321	417	631	－
増減率（%）	10.9	21.4	24.5	52.6	－
（ご参考）前期実績(2026年３月期第２四半期)	67,022	1,586	1,803	1,327	158.92

2．修正の理由

当中間連結会計期間におきましては、物価上昇に伴う価格改定やインバウンド需要による一定の押上効果があったなか、売上高については、食品事業において、北方凍魚における赤魚・ホッケの中国向け販売が堅調に推移したこと、海洋事業において、まき網用を中心とした漁具資材や陸上ネットの販売が堅調に推移し、養殖用餌料販売の他、養殖用生簀や機資材の需要が安定して推移したことによります。

また、親会社株主に帰属する中間純利益については政策保有株式の一部売却に伴う特別利益を計上したことなどにより、2026年５月15日に公表いたしました予想数値を上回りました。

なお、通期業績予想と、配当予想につきまして変更はございません。

（注）上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以　上